

あいさつの大切さを教えよう

愛知県の市議が、交通安全啓発中の自分に中学生達が挨拶を返さなかったとして、フェイスブックに感想や顔が分かる写真を搭載していた。どんな事情があるにせよ、やりすぎだ。

しかし、挨拶がないことを嘆く市議の気持ちも分からなくはない。ただ私も小学生時代はろくにあいさつができなかった。中学生になって剣道部に入り、やっと形道りの挨拶ができるようになった。

真にあいさつの大切さを知ったのは当時の校長先生のおかげだ。校長先生は通学途中の通学路を自ら自電車で見回って生徒にあいさつと激励をしてくれた。そして良い挨拶を返すとその場でほめてくれた。野球部の友人は帽子を取ってする野球部式のあいさつをして朝礼で全校生徒の前で激賞された。あいさつが人と人との関係の上で最も大切だと諭してくれた。

単に「あいさつしろ」というのではなく、挨拶の持つ意義や大切さを指導し、考えさせることが大事だと思う。